

音楽Ⅰワークシート	西洋音楽史（バロック）		教科書 『高校生の音楽Ⅰ』	P.63 音楽って何だろう？（リズムム） P.74 メヌエット ト長調 P.120 西洋音楽史 バロック① P.122 西洋音楽史 バロック②	
	氏名			評価	

① 「西洋音楽史」の「バロック①」(教P.120) について、次の問いに答えよう。

1) バロックについて、次の文章を完成させよう。[知]

バロックは「() 真珠」を意味し、当初は装飾過剰な建築を揶揄する言葉として使われたが、後にこの時代の音楽や() などの様式を指すようになった。17 世紀には音楽家の活動の場は教会だけでなく() にも広がった。声楽では() やオラトリオ、カンタータなど、器楽では() などのさまざまなジャンルが、それぞれ誕生して発展した。

2) バロック時代のオペラや音楽家についての説明として、正しいものには() に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを() に書こう。[知]

- ア 音楽サークル「カメラータ」の結成が、オペラの始まりである。…()
- イ 「カメラータ」は、イタリアのベネツィアに集った知識人で結成された。…()
- ウ オラトリオ《オルフェオ》は、モンテヴェルディの代表作である。…()
- エ 17 世紀のヨーロッパでは、多くの音楽家はバトロニに雇われていた。…()
- オ オペラの音楽には、合唱と器楽伴奏からなるモノディー様式が採用された。…()

3) バロック時代の器楽について、次の文章を完成させよう。[知]

器楽の分野では、協奏曲が誕生し発展した。() と独奏が() 的に扱われ、音の強弱や音色の() がそれまでの音楽にはなかった躍動感を生み出した。協奏曲はその後、() 派、ロマン派へと引き継がれさらなる発展を遂げる。

バロック時代にオペラや協奏曲が盛んに演奏された背景には、() 属の発展がある。() 属の標準的な形状は 16 世紀半ばに北イタリアの() で完成され、現在までほとんど形が変わっていない。

4) モノディー様式に注目しながら〈麗しのアマリッリ〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。
[主/思・判・表]

5) 総奏と独奏の強弱や音色の対比に注目しながら《調和の靈感》から第 8 番 第 1 楽章を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。[主/思・判・表]

② 「西洋音楽史」の「バロック②」(教P.122) の音楽について、次の問いに答えよう。

1) 次の文章を完成させよう。[知]

ヨーロッパの有力な王侯貴族の() では、音楽文化が発達した。中でもフランスのバリや() 宮殿では日夜演奏会が催され、宮廷文化が花開いていた。宮殿では、() のオペラやバレエ、F.クーブラン、ラモーなどの作品が多数演奏された。

() やオルガンなどの鍵盤楽器は、通奏低音を担当する楽器として() で重要な地位を占めていた一方で、() 楽器としても扱われるようになった。イタリアでは、オルガン曲集《音楽の花束》を作曲した() やスペイン王妃の音楽教師を務めた() が、フランスでは F.クーブランが、ドイツでは J.S.バッハなどが鍵盤楽器のための作品を多く残し、新しいジャンルを開拓した。

また、いくつかの() などを組み合わせた器楽作品である「() 」というジャンルも生み出された。17 世紀中頃、性格の異なる 4 種の() を基本に、他の() などを組み合わせてつくる() が定着した。

2) バッハの音楽の魅力を味わおう。(教P.123) [主/思・判・表]

(1) 解放弦の響きがどのように生かされているかに注目しながら〈前奏曲〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。

(2) 冒頭の旋律とコーラルの対比に注目しながらコーラル〈主よ、人の望みの喜びを〉を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。

③ 「メヌエット」を演奏しよう。

1) 「メヌエット」(教P.63) について、次の文章を完成させよう。[知]

メヌエットは、バロック時代に() の宮廷で流行した() 拍子の舞曲で、男女のペアで踊られる。() や交響曲にも取り入れられた。

2) ソプラノ・リコーダーで「メヌエット」(教P.74) のパート 1 を演奏しよう。[主]

3) 演奏して感じたことや、どのように演奏するとういか考えたことを書こう。[主/思・判・表]